

取組名称	木の輪で学びの場をつなぐ「Tamagawa Mokurin Project」			団体設立後の経過年数	94年
応募取組主体名称	学校法人 玉川学園	活動地域	東京都町田市、神奈川県川崎市、横浜市	応募取組の活動年数	6年
取組主体の種類	企業 / <u>学校</u> / NPO・任意団体 / 自治体 / 地域コミュニティ / 個人 / ユース部門（概ね30代以下の次世代を担う若手が中心となって実施する取組はこちらにもチェックしてください） / その他				
応募取組に関連する実行委員会特別賞	<u>サステナブルデザイン賞</u> / <u>子どもエンパワーメント賞</u> / 環境と福祉賞 / 環境地域ブランディング賞 / <u>環境ひとつくり賞</u> / 環境社会イノベーション賞 / 地球と人への思いやり賞 / SDGsビジネス賞 / <u>EXPO2025 いのち動的平衡賞</u>				



取組の要旨	<p>自然の尊重を教育信条のひとつとする玉川学園は、緑豊かな教育の場の創出を目指して創立から90年以上かけて植林労作活動を行ってきましたが、植えた木々は大きく成長し間伐等の管理が必要になりました。そこで、2018年にスタートした学内の間伐材を活用した「Tama treeプロジェクト」を契機に、2022年に<b>玉川学園キャンパス内の樹木の整備と学園での学びを「木の輪」でつなぐプロジェクト「Tamagawa Mokurin Project」</b>を立ち上げました。</p>
実績の要旨	<p>「Tamagawa Mokurin Project」は、キャンパス内の樹木の整備と学園での学びを「木の輪」でつなぐことを目的とした活動のプラットフォームです。そして、玉川大学・玉川学園が推進する自然の尊重・労作教育の推進及び、2050年キャンパス全体のカーボンニュートラル化の中核的な事業として位置付けられています。本学の生徒、学生、教員、職員が木に関わり、木に対する親しみや理解を深めることを活動の原点にしています。教材としての木工作品製作、キャンパス内の里山環境整備、地域のイベント出展やワークショップ参加など多くの実績があります。</p>

取組評価の要旨	環境への貢献	キャンパスの森を整備して希少な動植物の生息生育環境を保全すると共に、排出された間伐材等を炭化させることで炭素の隔離を行い、炭素吸収量の増加を促すマイナスカーボンに関する実証実験に取り組んでいます。
	社会・経済への貢献	人材育成を通じた社会啓発に目を向けることで、学内での人づくりを目的とした教育事業から人を通じた社会貢献事業へ「木の輪 Mokurin」の領域を広げていきます。
	地域資源の活用	東京の本校キャンパスに加えて、北海道の弟子屈農場及び、鹿児島島の南さつまキャンパス、箱根には演習林があります。4拠点それぞれに異なる気候風土、生態系、森林特性、木材特性、農産物を取り入れた独自の活動プログラムを開発します。
	普及・汎用性	玉川学園は特定の自治体や企業と包括連携協定を結び、地元の市区や大学ネットワークと連携して地域社会の発展や人材育成等に係わる取り組みを進めており、それらの地域ニーズに応じた「木の輪 Mokurin」を広げていきます。
	革新・ユニーク性	学部、専門領域、年齢等を横断した交流の中で、玉川学園独自の学際的な活動を展開しています。自然科学と芸術、教育と環境など、一般カリキュラムにはない独自の活動プログラムを開発していきます。
	継続性	キャンパス内の広大な森林と農地、木材低温乾燥装置や多様な木工機械器具等、フィールドとハードインフラが活動を支えています。そして幼稚園から大学までの在校生、そして卒業生へと、活動の成果は年齢と共に引き継がれていきます。

展望の要旨	キャンパス中心に展開する自主事業及び、他事業や地域からの要請に基づく受け入れ事業の双方を拡充することによって、「木の輪 Mokurin」の活動成果を社会により広く発信していきます。
-------	--------------------------------------------------------------------------------------------